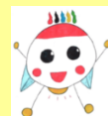




- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の、友だちの、命を守る



子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

かいっぱい頑張った。高槻小運動会。

10月26日(土曜日)の高槻小運動会には、多くの保護者の方、地域の方にご来校いただき、ありがとうございました。前日からの予報で、天気が心配でしたが、子どもたちの祈りが通じ、気持ちの良い気候の中、子どもたちは、けがもなく元気いっぱい、頑張ることができました。

今年のスローガンは「たのしく・かてるように・つよいきずなで・きもちを一つに・力を合わせて・一生懸命取り組もう」でした。子どもたちで決めた、このスローガンを目標に、日々の練習、そして、本番で頑張りました。また、今年は80周年特別演技、全員で取り組む「大玉送り」も行いました。子どもたち皆で力を合わせて頑張ったこの競技は、来年度からも行っていきたいと感想が出ていました。どの学年も大変すばらしい演技でした。そして、5、6年生は、演技や用具、放送、開閉会式の司会進行など、自分の係活動を頑張りました。ご家庭でも子どもたちの頑張りをほめていただけたのではないのでしょうか。また、当日は、多くの保護者や地域の方が残ってください、後片付けがスムーズにできました。ありがとうございました。



運動会が終わって、明けて29日の火曜日には、早速、5、6年生が体育館に集まり、自分たちの頑張りの、一人一人の目当てが達成できたかなどの、「運動会の振り返り」を行っていました。そして、これからは高学年として、高槻小学校を盛り上げていくよう話し合われていました。

これら行事を重ねながら、子どもたちが、達成感の喜び、一致団結することの尊さ、友達と協力することの大切さを学び、身に着けたことを、日々の学習や生活に生かしてほしいと思います。



みらい政策委員会「思いっきり公園」への取り組みを通してー

子どもたちの目線を、街づくりに取り入れていこうと、北九州市が今年度からスタートした「みらい政策委員会」に、本校の4、5年生が取り組みました。市の小中学校と、小倉商業高等学校の、合わせて11校が参加しました。それぞれの学校がテーマに沿って、5月から自分たちが住む町の課題について考え、解決にむけて政策を考えていきました。

本校のテーマは「思いっきり公園づくり」です。アンケートを行い、「中畑公園」「宮の町公園」「山路1丁目西公園」を選び、公園での遊び方や過ごし方、施設について、課題を出し合い、誰もが安心して安全に過ごせる公園を目指して、話し合いを進めていきました。

話し合いの中で、課題として「草が生い茂って遊べない場所がある」「ボールが禁止なので、もっとフェンスを高くしてボール遊びができるように」「遊具が老朽化して危ない。」「ベンチが古く、安心して休めない」「トイレの使い方が悪い。汚れている」



「公園なのに、決まった人が遊んでいて、ベンチでゲームをするなど、のびのび遊んでいない」など、自たちの公園の使い方を振り返り、様々な課題や課題解決に向けての意見が出ました。

9月には市の「街づくり政策委員会」の方々が来られ、子どもたちと一緒に話し合いに参加していただきました。こうした活動を通して、先月、次のように提言をまとめ、4、5年生の代表の児童が、市長へ提言書を提出しました。



利用のルール

- ・ほかの利用者とゆずり合って使う。 ・遊具や公園のものは正しく大切に使う。
- ・ごみは家まで持って帰る。 ・ベンチやトイレはきれいに使う。

施設面の提案

- ・ルールを書いた看板の設置。 ・駐輪場の設置。
- ・今あるフェンスをもう少し高くして、ボール遊びができるように。
- ・遊具やトイレの修繕や、アンケートを取るなどして新しい遊具の設置を。

そして、2月に予算が組まれ、子どもたちが提言したことの実現化が(すべてではありませんが)行われるようです。子どもたちは「子どもが考えたことだけど、市長が約束してくれたのでうれしい」「予算とかもあるので、なかなか実現は難しいことも知った」「高槻の町が住みよくなると思う」と、振り返りました。

子どもの目線で考えたことが、みんなにやさしい社会につながることを知る、良い経験体験でした。